

Our Initiative

役職員が「働きがい」を感じる 職場をつくる

大和証券グループがCSRの重要課題を実践する上で、核となるのが人材です。

役職員が高いモチベーションを維持し、会社や社会に貢献していくためには「働きがいのある会社」でなければなりません。役職員の満足度を高めていくことが、お客様や株主の満足度を高めていくことにもつながります。

一人ひとりが高いモチベーションをもって仕事にチャレンジするには、仕事とプライベートのバランスを取ることで仕事への活力を生み出し、業務効率を高めていくことが大切であると考えています。

性別・年齢を問わず「働きやすい会社No.1」を目指して、グループ全体で「ワーク・ライフ・バランス」の推進に積極的に取り組んでいきます。

“ 最初は、「ワーク・ライフ・バランス」は女性のためのもの、という反応でした。地道に取り組むなかで、長時間労働が美徳という意識にも徐々に変化が見られるようになりました。19時前退社はお客様のご理解のもと定着し、「時間は自分でコントロールするもの」という意識が浸透しつつあります。男性の育児休職取得も増えてきました。全役職員にとって「働きやすい会社No.1」を目指して、これからも活きた制度への取り組みを心がけていきます。 ”

大和証券グループ本社 人事部
ワーク・ライフ・バランス推進室 課長代理

村瀬 理紗

2001年入社。大和証券渋谷支店での営業、営業企画部プロモーション課を経て、現在は2008年4月に大和証券グループ本社に新設された「ワーク・ライフ・バランス推進室」の専任担当。



本人 1才時

ワーク・ライフ・バランスの実現を目指して

これからは、優れた人材を確保するだけでなく、「ワーク・ライフ・バランス」を実現することが、企業の持続的成長のために不可欠です。大和証券グループでは、経営トップのリーダーシップの下、役職員の「ワーク・ライフ・バランス」の実現に向けて取組みを強化しています。

2008年4月には、大和証券グループ本社内に「ワーク・ライフ・バランス推進室」を設け、執行役社長の鈴木茂晴をCWO（Chief Work-life-balance Officer）とする「ワーク・ライフ・バランス推進委員会」を定期的に開催しています。また同月から、厚生労働省が推進する「仕事と生活の調和推進プロジェクト」にもモデル企業として参画しています。

有給休暇消化率（大和証券グループ本社、大和証券、大和証券SMBCの3社）

年度	2006	2007	2008
有給休暇消化率	35.6%	37.4%	57.0%

ワーク・ライフ・バランス推進に向けた施策

役職員の「ワーク・ライフ・バランス」実現に向けて、私たちはさまざまな施策に取り組んできました。

2007年7月から本格的に開始した「19時前退社」の励行は、大和証券の全部室店に定着し、働き方の大きな変革につながりました。多くの役職員が家族との団らんや自己啓発の時間を十分に持てるようになっただけでなく、組織全体として業務効率の向上にもつながりました。この実績を踏まえ、ほかのグループ各社にも拡大を図っています。また、2008年から休暇を取得しやすい職場環境の形成を目指し、年休取得促進策を展開しています。

そのほかにも、育児休職制度を改定し、男性役職員も育児休職を取りやすくしました。こうした姿勢が評価され、2008年6月に、大和証券グループ本社が、厚生労働省より「次世代の育成支援に積極的に取り組む企業」として「子育てサポート認定事業主マーク」（愛称「くるみん」）を取得しました。同マークは、大和証券、大和証券SMBC、大和総研ホールディングス、大和総研、大和総研ビジネス・イノベーション、大和証券ビジネスセンターも取得しています。このほか、2007年12月より、3人目以降の子育てに対する経済的負担を軽減するために、200万円の出生祝金を支給しています。

育児休職取得実績（グループ9社）

（単位：人）

年度	2006	2007	2008	
育児休職取得者*	女性	150	209	245
	男性	2	4	14

*育児休職制度の対象者は非正規社員（契約・パート従業員等）を含みます。産前産後休業については法定要件であるため、2004年度から取得者数を記載していません。

男女ともに働きやすい職場

大和証券グループでは、2005年の女性活躍推進チーム発足以降、女性活躍支援策を拡充してきました。2009年4月現在、大和証券117支店中8支店で支店長を務めています。また、同月には新たに4人の女性役員が誕生し、その活躍は組織全体に活力を与えています。

大和証券グループ本社は、日経WOMAN誌2008年5月号の「女性が働きやすい会社Best 100」において、総合第7位（金融業界第1位）、女性活用度部門では第1位、2008年9月に日本経済新聞・日本経済産業新聞に掲載された「働きやすい会社2008」では、第14位（証券業界第1位）を獲得しています。また、2009年の就職ランキング調査（金融機関）においては、週刊ダイヤモンド誌で男子4位・女子6位、日本経済新聞で5位と、いずれも証券業界ではトップに位置しています。

大和証券グループでは、「ワーク・ライフ・バランス」の施策を通じて、引き続き男女ともに働きやすい職場環境の整備に努めていきます。

従業員に占める女性比率（国内）

	2007年3月末	2008年3月末	2009年3月末
従業員に占める女性比率	33.3%	36.0%	36.8%

役職員の家族とのコミュニケーション

役職員本人だけでなく、その家族にとっても配偶者や親・子の勤めている会社には、大きな関心があります。

大和証券グループは、役職員の家族も重要なステークホルダーととらえ、これまでも役職員とその家族が自由に参加できる大規模イベントを開催したり、社長賞の表彰式に受賞者の家族を招待するなどしてきましたが、さらに2008年8月には、「家族の職場訪問」を各部室店で初めて開催しました。グループ全体で約4,400名が参加するという大規模なイベントとなりました。



家族の職場訪問

※そのほか数値・詳細は、2009年8月末にウェブサイトにて公開予定です。